

2 5 循環器・呼吸器病センター本館棟 1 階空調設備改修工事
(工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする。)

図面番号		図面名称
M-	1	機械設備工事特記仕様書 (1)
	2	機械設備工事特記仕様書 (2)
	3	機械設備工事特記仕様書 (3)
	4	案内・配置図
	5	工事概要
	6	改修ファンコイルリスト (1)
	7	改修ファンコイルリスト (2)
	8	ファンコイル電動二方弁更新参考図
	9	空調配管系統図 竣工図
	10	1 階 空調設備図
	11	1 階 空調配管設備 竣工図 (1)
	12	1 階 空調配管設備 竣工図 (2)
	13	1 階 天井伏 竣工図 (1)
	14	1 階 天井伏 竣工図 (2)

● 空気調和設備	① 設計温湿度	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">外 気</th><th colspan="4">一 般 系 統</th><th colspan="4">屋 内</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>37.1℃</td><td>47.1%</td><td>28℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>0.5℃</td><td>49.4%</td><td>20℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table> ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。		外 気		一 般 系 統				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	37.1℃	47.1%	28℃	%	℃	%	℃	%	冬 期	0.5℃	49.4%	20℃	%	℃	%	℃	%	② 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ○しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない	3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない	4 煙 突	※別途 ・本工事	5 長方形ダクト	※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	6 円形ダクト	※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。	7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製	10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)	⑪ 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ○耐熱塩ビライニング鋼管 (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) (5) ドレン管 (屋外) ※硬質塩化ビニル管VP (カラー) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (EXTRA DRAINAGE 相当品) ・耐火二層管VP (FDPS-1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	⑫ 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・	15 瞬間流量計	瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。																																													
		外 気		一 般 系 統				屋 内																																																																																																														
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																																													
	夏 期	37.1℃	47.1%	28℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																													
	冬 期	0.5℃	49.4%	20℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																													
	② 長方形ダクト	※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	③ 円形ダクト	※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管 ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。	④ 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	⑤ チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	⑥ ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)	⑦ 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける	⑧ 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠れ部ダクト 仕様はN・(口)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房・湯沸室 ・) 用の隠蔽い部ダクト (仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による)	⑨ 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない	○ 給 水 設 備	1 配管材料	配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table><tr><th rowspan="2">施 工 箇 所</th><th colspan="2">管 種 別</th></tr><tr><th>管 種 別</th><th></th></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※SUS ・ポリブテン管</td><td></td></tr><tr><td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td><td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td><td></td></tr><tr><td>保温をしない屋外露出部</td><td>※SUS</td><td></td></tr><tr><td>地中埋設部 (水道直結部分)</td><td>・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td><td></td></tr><tr><td>地中埋設部 (一般部分)</td><td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td><td></td></tr><tr><td>県営住宅 住戸内</td><td>※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管</td><td></td></tr><tr><td>便所天井内、P S内 (注5)</td><td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td><td></td></tr><tr><td>便所天井内</td><td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td><td></td></tr><tr><td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td><td>※ポリブテン管</td><td></td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td><td></td></tr></table> (注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ダブル) ※拡張 便所・廊下流し廻り露出配管 (※拡張) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。 8. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9. 住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。	施 工 箇 所	管 種 別		管 種 別		床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ポリブテン管		ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管		保温をしない屋外露出部	※SUS		地中埋設部 (水道直結部分)	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)		地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)		県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管		便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)		便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)		便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管		その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管		2 一体形タンク	一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	3 水 栓	※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。	4 量 水 器	※観メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買取り ・)	5 量水器樹	※水道事業者指定品 ・標準図MC形	6 弁 類	規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10 Kとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び標準仕様書による。	7 水 栓 柱	・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓	8 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))	9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。	10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。	11 本管取出し	水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。	○ 排 水 設 備	1 配管材料	配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table><tr><th rowspan="2">施 工 箇 所</th><th colspan="2">管 種 別</th></tr><tr><th>管 種 別</th><th></th></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td><td></td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>※SGP (白) ・</td><td></td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td><td></td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td></td></tr><tr><td>床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)</td><td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td><td></td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用(※耐火) 杉塗装鋼管</td><td></td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td></td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ※RE P-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td><td></td></tr><tr><td>共通</td><td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td><td></td></tr><tr><td>通気配管</td><td>※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td></td></tr></table> (注)1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	施 工 箇 所	管 種 別		管 種 別		床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P		厨房等の温排水	※SGP (白) ・		耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)		その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P		耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用(※耐火) 杉塗装鋼管		その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		地中埋設部	※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ※RE P-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P		共通	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)		通気配管	※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。	3 満水試験継手	3階以上わたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット	4 樹の適用	別紙樹表による。
	施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																																				
		管 種 別																																																																																																																				
	床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ポリブテン管																																																																																																																				
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																																				
保温をしない屋外露出部	※SUS																																																																																																																					
地中埋設部 (水道直結部分)	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																																																																					
地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																																																																					
県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管																																																																																																																					
便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																																																					
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																																					
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																																					
その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																																					
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																																					
	管 種 別																																																																																																																					
床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																																																																																					
その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																																					
床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。)	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																																					
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用(※耐火) 杉塗装鋼管																																																																																																																					
その他の部分	※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																																					
地中埋設部	※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ※RE P-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																																					
共通	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																																																																																					
通気配管	※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																																					

	設計年月日		本部長	管理幹	主 幹	主 査	主 査	担 当	縮 尺	工 事 名 称		図 面 名		図面番号
										25循環器・呼吸器病センター		機械設備工事特記仕様書 (2)		M-02
			地方独立行政法人埼玉県立病院機構							本館棟1階空調設備改修工事				

環境配慮（グリーン）改修工事

1アスベスト処理工事一般共通事項

2アスベスト含有分析調査

3アスベスト粉じん濃度測定

留意事項

分析によるアスベスト含有建材の調査

アスベスト粉じん濃度測定

47μm以下含有吹き付材の撤去（レベル1）

57μm以下含有保温材等の撤去（レベル2）

67μm以下含有成形板類の撤去（レベル3）

アスベスト含有吹き付け材の除去

アスベスト含有保温材の除去

1アスベスト含有成形板の除去

2非石綿部での切断による除去

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

工事計画・要領書の作成・届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示

事前清掃

周辺の養生

粉じん飛散抑制剤の散布・浸透

原形のまま取り外し

取り残しがないことの確認

除去面に粉じん飛散防止処理剤散布

養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布

養生の撤去

最終清掃

作業記録

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

工事計画・要領書の作成・届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示
（所管行政の指導がある場合）

事前清掃

石綿含有部分以外の部分で切断

プラスチックシートまたは袋で二重梱包

最終清掃

作業記録

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

工事計画・要領書の作成・届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示

事前清掃

周辺の養生

配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生
配管エルボ部を濡らしたウエス等で湿潤化

石綿含有部分以外の部分で切断

薬液で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包

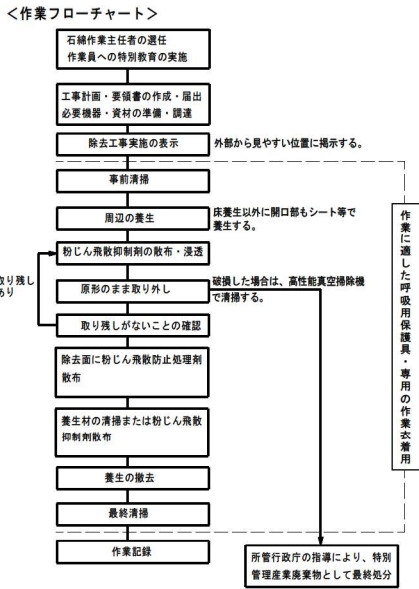
最終清掃

作業記録

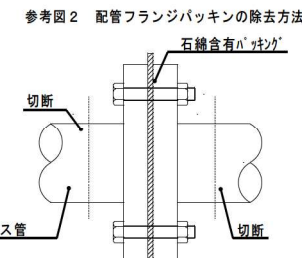
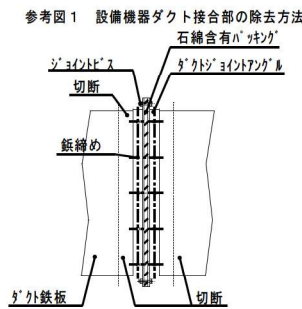
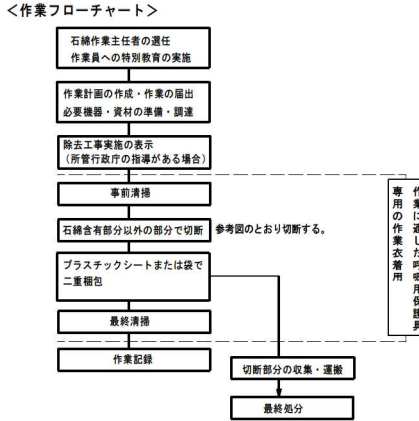
25循環器・呼吸器病センター
本館棟1階空調設備改修工事

機械設備工事特記仕様書（3）

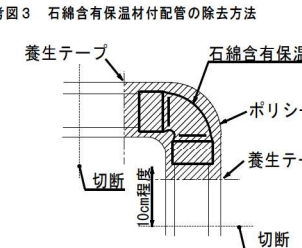
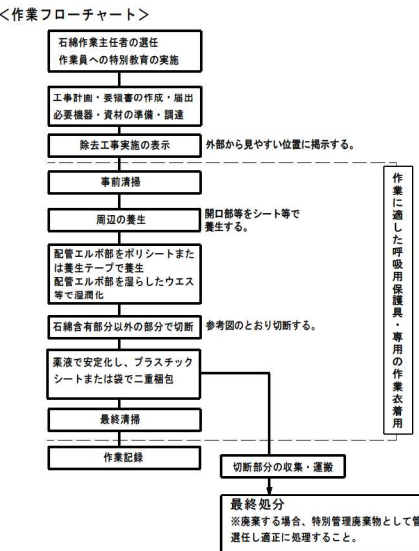
M-03

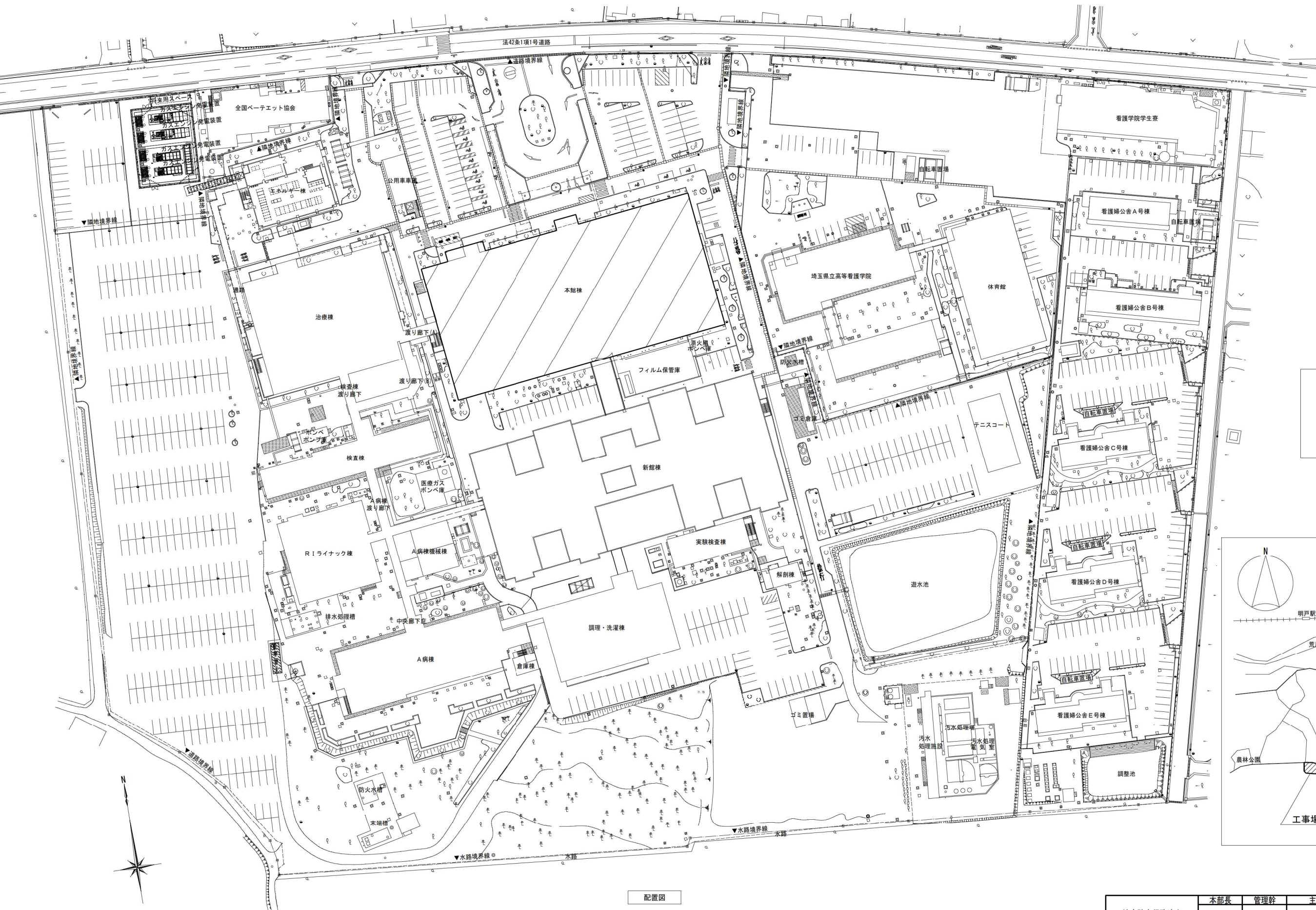


2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）
建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。



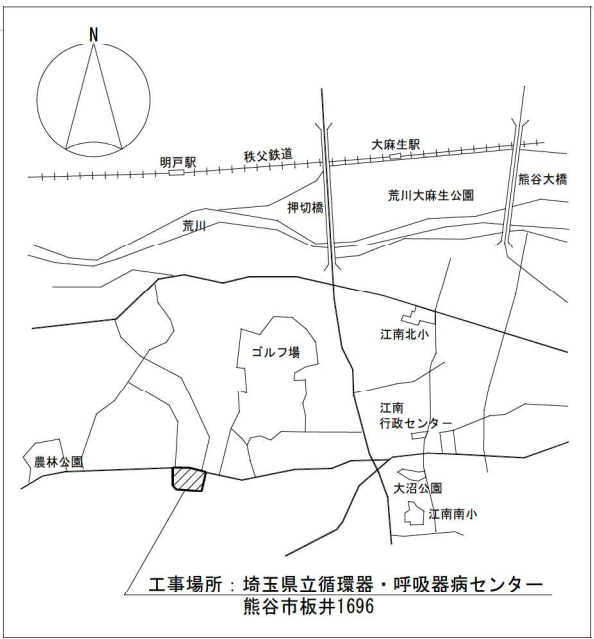
3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。





凡例

 工事範囲を示す



案内図

配置図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

摘要	設計年月日	変更年月日	照 査	設 計	製 図	有 限 公 司 ク ラ フ ト 設 備 設 計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 本館棟1階空調設備改修工事 図面名 案内・配置図	設計図 縮尺A 1:1: 600 A3 1:1200	図面番号 M - 04
	R06年03月21日		栗木	栗木	佐藤 大谷				

工事概要

- 1 本館棟のファンコイルの電動二方弁の更新を居ながら工事で行う。
- 2 工事は、原則として、1, 2階は外来者が平日出入りするため、土休日・閉院日等に作業を行う。
- 3 作業範囲は、プラコーン等で囲い、警備員(軽作業員)を常駐させ作業を行う。
利用者、職員等の通行に支障がでる場合は、一時的に工事を中断し、
プラコーン等を移動させ、安全に通行ができる様に、警備員等が誘導する。
- 4 作業範囲は、床養生を行い、その日の工事完了後、撤去・清掃を行うこと
- 5 天井内作業であり、上下作業にならない様に安全に注意すること。
- 6 原則として、床養生の上に脚立足場を設置し、ここより安全に作業を行うこと
- 7 いずれの作業も、作業範囲の備品の移動、患者の移動等病院に協力を要請する

施 工

(準備工事)

- 1 最寄りの天井点検口より、改修工事場所を確認し、新設する天井点検口の位置を決める
- 2 床養生、脚立足場用意、警備員配置
- 3 各ファンコイルに作業用の天井点検口(600口)2箇所程度新設する
- 4 仮設材の撤去、清掃を行う

(改修工事)

- 1 床養生、脚立足場用意、警備員配置
- 2 ファンコイルの既存ボール弁を閉とし、保温材、電動弁(離線とも)及び往・還のフレキチューブを取り外す
この状態で、ボール弁を徐々に開にしていき、冷温水管が閉塞していないことの確認を行う
天井内への漏水を避けるため、水受けのパン、バケツ等を用意しておく
- 3 閉塞していないことが確認できたら、電動弁及びフレキチューブの交換、電動弁の配線接続を行う
- 4 ボール弁を開とし、漏水の無い事を確認し、ファンコイルのエア抜き弁よりエア抜きを確実に行う
- 5 保温改修工事を行い結露の無いように施工する。ファンコイルより結露水が、配管と保温材のすき間に
流れ込む場合が有るので、その場合(冷温水管がファンコイルより下がっている場合等)は
ファンコイル接続部に、結露水よけセパレーターを取り付け、結露水が配管に伝わらないようにする
- 6 保温改修時に、既存の冷暖切替用温度センサーが冷温水管(入口)に、密着されていることを確認する
- 7 ファンコイルを運転し、電動弁の動作確認を行う
- 8 仮設材の撤去、清掃を行う
- 9 冷暖房シーズン前に、各ファンコイルの吹出口、吸込口温度を測定し、正常運転を確認する

(分岐冷温水管の閉塞が確認された場合)

冷温水管(分岐管)の閉塞が確認された場合は、作業を中断し、分岐管の更新を行う
その場合、費用及び工期について監督員と協議を行う

- 1 冷温水管分岐箇所に天井点検口を新設する
- 2 冷温水主管の分岐部両端を凍結工法で氷らせ、分岐用ボールバルブを新設し、
既存分岐冷温水管を撤去する。これらは数カ所まとめた作業とする
- 3 新設する分岐ボールバルブより、保温付き架橋ポリエチレン管等で、分岐配管を更新する
- 4 分岐部分の結露が生じないよう、保温改修を行う
- 5 以降、上記作業同様とし、この場合はファンコイル用ボールバルブも更新とする

	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部					

摘要				設計年月日	変更年月日		照 査	設 計	製 図	有 限 公 司 ク ラ フ ト 設 備 設 計 建築設備士 第36101-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本 社 〒360-0824 熊 谷 市 見 晴 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 高 崎 〒370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 本館棟1階空調設備改修工事			設計図	図面番号
				R06年03月21日			栗 木	栗 木	佐 藤		大 谷	図面名		縮尺A 1 1 : NON A 3 1 : NON	M - 05
												工事概要			

改修ファンコイルリスト(1)

図面記号	名 称	仕 様	電 力			台 数								備 考
			相 電 圧 (V)	出力 (kW)		1階		2階		3階	4階	5階	合計	
						2管式	4管式	2管式	4管式	2管式	2管式	2管式		
FCU-2	天吊カセット型	冷房能力 全熱 1.62 kW	1	100	0.039	10							10	本体は既存のまま
		暖房能力 1.62 kW												
		標準風量 360 m3/h 標準冷温水量 4.0 L/min												
FCU-3	天吊カセット型	冷房能力 全熱 2.29 kW	1	100	0.059	7							7	本体は既存のまま
		暖房能力 2.44 kW												
		標準風量 510 m3/h 標準冷温水量 6.0 L/min												
FCU-4	天吊カセット型	冷房能力 全熱 3.20 kW	1	100	0.070	32							32	本体は既存のまま
		暖房能力 3.22 kW												
		標準風量 660 m3/h 標準冷温水量 8.0 L/min												
FCU-6	天吊カセット型	冷房能力 全熱 4.53 kW	1	100	0.071	11							11	本体は既存のまま
		暖房能力 4.81 kW												
		標準風量 970 m3/h 標準冷温水量 11.0 L/min												
FCU-8	天吊カセット型	冷房能力 全熱 5.88 kW	1	100	0.121	3							3	本体は既存のまま
		暖房能力 5.86 kW												
		標準風量 1,310 m3/h 標準冷温水量 12.0 L/min												
FCU-12	天吊カセット型	冷房能力 全熱 10.11 kW	1	100	0.125									
		暖房能力 8.95 kW												
		標準風量 1,700 m3/h 標準冷温水量 30.0 L/min												
FCU-2	天吊カセット型	冷房能力 全熱 1.54 kW	1	100	0.039									
		暖房能力 1.65 kW												
		標準風量 360 m3/h 標準冷温水量 6.0 L/min												
FCU-3	天吊カセット型	冷房能力 全熱 2.34 kW	1	100	0.059									
		暖房能力 2.36 kW												
		標準風量 510 m3/h 標準冷温水量 12.0 L/min												
FCU-4	天吊カセット型	冷房能力 全熱 3.05 kW	1	100	0.070									
		暖房能力 3.08 kW												
		標準風量 660 m3/h 標準冷温水量 12.0 L/min												
FCU-6	天吊カセット型	冷房能力 全熱 4.16 kW	1	100	0.071									
		暖房能力 4.02 kW												
		標準風量 970 m3/h 標準冷温水量 13.0 L/min												
FCU-8	天吊カセット型	冷房能力 全熱 5.96 kW	1	100	0.121									
		暖房能力 5.46 kW												
		標準風量 1,310 m3/h 標準冷温水量 15.0 L/min												
FCF-2	天吊カセット型	冷房能力 全熱 1.52 kW	1	100	0.041									
		暖房能力 1.56 kW												
		標準風量 320 m3/h 標準冷温水量 7.0 L/min												
FCF-3	天吊カセット型	冷房能力 全熱 2.43 kW	1	100	0.055	25							25	本体は既存のまま
		暖房能力 2.44 kW												
		標準風量 405 m3/h 標準冷温水量 8.0 L/min												
FCF-4	天吊カセット型	冷房能力 全熱 3.31 kW	1	100	0.077	8							8	本体は既存のまま
		暖房能力 3.15 kW												
		標準風量 630 m3/h 標準冷温水量 9.0 L/min												
					計	96							96	

設計条件 入口空気温度 冷温水入口温度 出口温度 コイル列数
夏季 26℃ DB RH50% 2管式 夏季 7℃ 冬季 45℃ 14℃ 3列
冬季 22℃ DB RH50% 4管式 夏季 7℃ 冬季 55℃ 37℃ 冷水 2列 温水 4列

注記 FCU:ロングライフフィルター付
FCF:比色法65% 中性能フィルタ付
型番口無し:1コイル型 2管式 型番口在リ:2コイル型 4管式

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

摘要	設計年月日			変更年月日			照 査 設 計 製 図			有 限 公 司 ク ラ フ ト 設 備 設 計 建築設備士 第6101-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本 社 〒 360-0824 熊 谷 市 見 請 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 高 崎 〒 370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 本館棟1階空調設備改修工事			設計図	図面番号 M - 06			
	R06 年 03 月 21 日						栗 木 栗 木 佐 藤 大 谷				図面名 改修ファンコイルリスト(1)					縮尺A 1 1 : NON A 3 1 : NON		